

令和元年度第4回青梅市障害者地域自立支援協議会会議録（案）

開催日時 令和2年2月25日（火）午後5時45分～午後7時45分
場 所 青梅市役所2階205・206会議室
出席委員 吉川会長、尾澤副会長、石井委員、葛西委員、朝長委員、
古久保委員、大沼委員、大栗委員、渡邊委員、加藤委員、
白井委員、永谷委員、泉委員、遠藤委員、山崎（克）委員、山
崎（二）委員、恩田委員
欠席委員 及川委員、滝瀬委員
傍聴者 1名

議 事 1 開会
2 報告事項
(1) 第5期障害者計画の策定状況について
(2) 市内における虐待通報等の状況および対応について
(3) 専門部会からの報告
・日中活動・就労支援部会
・相談支援部会
・権利擁護・差別解消部会
3 協議事項
(1) 令和2年度自立支援協議会開催日程案について
4 その他

資料一覧 第5期青梅市障害者策定状況（資料1－1）
第5期素案パブコメ意見・回答（資料2）
市内における虐待通報等の状況および対応について（資料
3）

1 開会

2 報告事項

(1) 第5期障害者計画策定状況について

策定経過と、第4回検討委員会後の主な修正点について資料1、
1－2により説明

◎主な修正点

・重点項目2の「障害者差別の解消とアクセシビリティの向上」
において、市において、青梅市の差別解消条例を策定することと

意思決定したため、「差別解消条例の検討を行う」を、「差別解消条例を制定し」に修正した。

- ・施策別取組の「自立支援の推進-住居の確保」では、パブリックコメントでの意見等の回答案とともに、「民間の新規参入の誘致に当たっては、情報提供等の支援を行っていきます。」とあったものを、「民間の新規参入に当たっては、『青梅市における福祉施設の配置のあり方に関する基本方針』にもとづき、情報提供等の支援を行っていきます。」と修正した。

(主な質疑、意見等)

- ・自立支援協議会から検討委員会に出席されていた委員2名のコメント
→言葉の使い方が難しい、広く深く障害者といってもいろいろなタイプの方がいるので、全てを網羅することは本当に難しいことだと思った。
→文言一つずつの解釈、表現など、細かい議論をした。当事者の方に発言していただく機会が少なかったことが反省点であると委員長、副委員長からの発言もあった。次回計画策定の時には、当事者の方に多く発言していただく工夫が必要であると思った。

(会長)「青梅市における福祉施設の配置のあり方に関する基本方針」では、4の経過措置の(5)で、入院の病床が減ったらその分を必要な施設だとみなすという補記もあるので、年代において配慮されていると思う。重複の障害のある人は「施設」であるとの考え方は、改めた方がよいのではないかと思う。

(2) 市内における虐待通報等の状況および対応について

資料3について説明 12月～2月 通報5件、虐待認定件数0件、否認定4件、調査中3件

(主な意見、質疑等)

- ・表記の仕方について、通報件数は数字ではなく、ケース名A B C Dと書き、いつ通報があって、いつ認定、調査終了等がわかるのでよいのでは。
- ・認定無という決め手について、具体例をお聞きしたい。
- ・障害を持つ親子間の虐待通報について、虐待認定の有無としてとらえるのではなく、なんらかの介入をするべきではないか。

(事務局) 通報されたものの道筋がわかるように、A B C等の表記にするよう変更して、次回報告する。

- ・認定無については、障害者施設の従事者が利用者に虐待しているという他の従事者からの内部通報であったが、通報の事実が確認出来なかったものなどであった。
- ・障害を持った親子間の問題については、親の支援として、ケアマネが関わっており、関係者が集まりケース会議等も開き対応を協議している。

(会長) 障害者虐待防止法では、養護者の支援についても明記されている。親への支援、子への支援等、複合的な支援が求められるため、難しいとは思いますがいろいろな支援をお願いしたい。

(3) 専門部会からの報告

- ・日中活動・就労支援部会

2月17日(月)放課後等デイサービス事業所職員向け遊びの研修会実施 13事業所42名、青峰学園教諭1名参加

- ・相談支援部会

12月18日(水) 情報共有「高次脳機能障害を知る」
サポートセンターと連携

1月17日(金)演奏会交流会について

1月24日(金)情報共有・事例検討

2月17日(月)情報共有・事例検討

(主な質疑) 3月28日に予定している演奏会交流会について、新型コロナウイルス感染防止の対応について、市としてはどのように考えるか。

(事務局) 本日、市の対策本部が開催される。イベントの開催について方向が出るかと思うが、現在、中止とすることは時期尚早ではあるかと思う。

(会長) まず、市の方針を聞いて、部会長と市で協議して、延期とするかどうか検討するということをお願いしたい。また、養護者による虐待対応で、高齢者の場合は、ケアマネが対応するが、障害の方は誰が対応するのか、虐待案件のため事業所は関わりにくい。部会の報告にもあったように、この点からも、基幹相談支援センターがあると良いと思う。

3 協議事項

(1) 令和２年度自立支援協議会開催日程案について

年４回、例年と同様の日程で会場を押さえている。任期は３月３１日で終了になるが、出来る限り、引き続きお願いしたい。

4 その他

(1) その他

現委員の任期は平成３０年４月１日から令和２年３月３１日
今年度限りで退任する予定の会長、副会長から挨拶。

(副会長) 自立支援協議会準備委員会から携わり、相談支援部会を担当してきた。退職に伴い、委員会も卒業させていただきたい。

(会長) １２年くらい携わってきた。精神障害者家族会の立ち上げ、当事者部会の設置、当事者の皆さんが参加できる協議会づくり等、企業見学会、作品展示会、笑顔で子育て等、他市に自慢できるような活動を展開していただいた。多忙によりここで退任させていただくが、現在の活動をさらに発展させていっていただきたい。

(事務局) 正副会長が退任とのことで、残念ではあるがやむを得ない。引き続きお願いできる方については、選出母体に通知を差し上げるので、次年度もお願いしたい。

以 上